

炭鉱周辺を散策

ぶらぶらまち歩きを幌新地区で実施

10/10

10月10日（土）空知に残る「炭鉱の記憶」を、地域の再生に役立てることを目的とした『ぶらぶらまち歩き』（NPO法人炭鉱の記憶推進事業団主催）が実施されました。

当日は、町内外から12名が参加し、講師の伊藤隆文氏（同法人運営会員）の案内のもと、ほたる学習館の「炭鉱資料室」で、当時の写真や採炭に使用された道具を実際に見ながら、歴史を学んだ後、ホロピリ湖記念公園に移動し浅野炭鉱跡付近を1時間ほど散策しました。



▲炭鉱資料館を見学する参加者

社会貢献活動として

中学校グラウンドを整備していただきました

10/12

10月12日（月）美唄市の北有建設株式会社（山口英男代表取締役）が社会貢献活動として沼田中学校のグラウンド整備を行なって下さいました。

北有建設株式会社は国道275号の縁石敷設替工事を実施している関係から、沿線の沼田中学校のグラウンドを重機を使い浅く表土を起こし、多くの従業員の皆様がレイキなどを使って作業にあたって下さいました。



▲多くの皆さんに作業していただきました

公平委員を退任された斉藤さんに感謝状

10/16

10月16日（金）、町長室で公平委員を3期12年間務められた斉藤義夫さん（東予）に町長より感謝状が手渡されました。

斉藤さんは平成15年から12年間公平委員を努めていただき、9月30日で任期を終えられました。町長から「これからも町政にご協力をお願いします」と挨拶の後、斉藤さんから「これからもできることがあればお手伝いしていきたい」とお話がありました。



▲感謝状を受け取る斉藤さん

町内の子どもたちに

ポッカサッポロが清涼飲料水を寄贈 10/21



▲幼稚園児の皆と記念撮影

10月21日(水)ポッカサッポロ北海道株式会社(山本隆二代表取締役社長)より、沼田幼稚園、沼田小学校、沼田中学校に対し、清涼飲料水の寄贈が行われました。

これは、ポッカサッポロ北海道株式会社が、夜高あんどん祭りにおいて頑張っていた子どもたちの姿を見て、激励をしたいとの思いで寄贈をいただき、昨年度、グループ会社のサッポロビール株式会社に続いて2年連続で寄贈をいただきました。

中学校を訪れた山本代表は寄贈に際し、「夜高あんどん祭りで頑張るみなさんの姿に感激しました。」と挨拶。これに対し久保羽有生徒会長が、「誇りあるあんどん祭りを観にきていただいております。来年も観に来てくれたら嬉しいです。」と挨拶し、山本代表から清涼飲料水が手渡されました。

長年の歴史に幕

恵比寿神社が沼田神社と合祀 10/23



▲地区の方々が集まって行われました

10月23日(金)恵比島地区にある恵比寿神社で、沼田神社への合祀に伴う遷座祭が行われました。

恵比寿神社は明治30年ごろ、当時の人たちが小祠を建て地区の鎮守として奉祀、次いで同35、6年ごろ社殿を建立しました。その後大正初期に現在地に社殿を移転しました。(沼田町100年史より抜粋)

恵比島地区の方々の高齢化や人口の減少などから、維持していくことが困難と判断し、今回沼田神社への合祀となりました。

美味しい味覚でいっぱいでした

賑わい夕市が開催 10/31

10月31日(土)旧沼田食品でまちなか賑わい夕市が開催されました。

当日は野菜の販売や大人気のコストコ屋台、市飲食店の屋台等が出店するなか、多くのお客さんで賑わいをみせました。また、新米1升の重さを当てるゲームや、ハロウィンの仮装をした子供たちが会場を訪れ「トリックオアトリート」と大きな声を出して、お菓子を袋一杯に詰めてもらっていました。



▲大勢のお客さんで賑わっていました

みんなで楽しく

沼田小学校で学習発表会 10/17

10月17日(土)沼田小学校(元木和芳校長)で「みんなが楽しく笑顔になるよう心一つにしよう!」をテーマに学習発表会が開催されました。

会場の体育館には保護者をはじめ家族の皆さんが大勢つめかけ、1年生による「はじめのことば」として「一生懸命練習してきました。私たちも楽しみです。皆さんも楽しんでください。」と挨拶があり、学習発表会が始まりました。各学年や複数学年で練習してきた合唱や演奏、表現豊かな劇、日本ハムファイターズのダンスなど学習の成果が発表されると、会場からは大きな拍手や歓声が起こっていました。



▲笑いあり涙ありの発表会でした



交通事故ゼロを目指して

交通安全町民大会を開催

11/3

11月3日（火）交通事故死ゼロを目指して、沼田町交通安全大会が町民会館で開催されました。

町民芸術祭の開催前に行われ、会場では子ども免許証の発行やパトカーや白バイの展示も行われ、たくさん子どもたちが白バイに乗ったり、用意された体験を楽しんでいました。

講堂で行われた交通安全町民大会では、交通安全標語、高齢者川柳の表彰、岡田沼田警察署長から交通安全を願い交通事故の被害者、加害者にならないよう日頃から注意すべきことなどのお話がありました。



▲自転車事故の模擬体験

日頃の練習の成果を発表

町民芸術祭を開催

11/3

11月3日（火）町民会館において、町民芸術祭（同実行委員会主催）が開催されました。

芸能発表会には延べ約170名の皆さんが出演し、第一部では小学校スクールバンドや中学校吹奏楽部、ぬまた吹ガールズの吹奏楽演奏のほか、フラダンスや明日萌の里フォトコンテストの表彰式が行われました。

第二部では二胡（にこ）や箏、ピアノ、オルガン、大正琴、太鼓の演奏やおわらや創作舞踊、剣詩舞、ヒップホップなどの踊りのほか、詩吟やコーラス、独唱、民謡などの歌声も披露され、終日たくさんの皆さんが会場を訪れていました。



▲月形学園の矯正展にも多くの方が訪れていました

お菓子をくれなきゃいたずらするぞ!!

ハッピーなハロウィンイベント

10/31

10月31日（土）駅前のとむとむ広場でゆきものがかり（山田昌希代表）が主催したハロウィンイベントが開催され、町内外から大勢のお客さんが訪れ賑わいをみせていました。

会場にはかぼちゃをくりぬいたりマジックで絵を描いたものや、シールを張ったもの等ユニークなジャック・オ・ランタンが約600個飾られ、来場者の目を楽しませていました。



▲主催したゆきものがかりメンバー

いざという時のために

地域防災セミナーを開催

11/7

1 1月7日(土)ふれあい地域防災セミナーが開催され、約40名の町民が参加しいざという時の備えなどについて研修を行いました。

北海道教育大学札幌校の佐々木貴子教授が「いざは、普段なり」と題し災害の恐ろしさや、心がけておくべきことなどについて講演を行いました。その後、参加者が7つのグループに分かれ、「実際に沼田町で災害が起きた時に必要なものは何か」「どのような行動をとるべきか」などについて話し合いました。

※今回開催した地域防災セミナーは、公益財団法人北海道市町村振興協会の助成を受けて実施いたしました。



▲防災セミナーの様子

元気いっぱい！！

沼田幼稚園で最後の発表会

11/8

1 1月8日(日)町民会館で第38回の幼稚園発表会が行われました。来年度からは「認定こども園」へ移行となることから、沼田幼稚園としては今年が最後の発表会となりました。

最初の歌では元気に園歌を歌ったあと「今日の発表会のために遊戯や劇を一生懸命練習しました。最後まで見てください。」と園児があいさつ。園児全員による縄跳びや、さくら、すみれの各組ごとに遊戯や劇が行われました。本庄園長からは「こども達が逞しく成長した姿をご覧いただけていると思う。本番に向け道具作りや運営にご協力いただいた保護者の皆さまに感謝します。」と挨拶がありました。発表会後半には、職員や保護者による出し物も行われ、多くの拍手が送られていました。



▲北風と太陽的一幕